

【出題方針】

専願志選抜の小論文では、情報分野を志す人に関心を向け、理解を深めてほしい情報通信技術関係の複数のテーマを提示します。その中から一つを選択し、これまでの知識と経験をもとに自らの考えを600文字以上800文字以内の文章で論理的に述べてもらいます。

情報学科では、人々が抱えるさまざまな課題を発見し、情報通信技術を活用して解決する実践的能力を育み、エンジニアやクリエイター、スペシャリストとして社会で活躍する人材を育成することを目指しています。そのために、情報通信技術に関する知識・技能を修得すること、複雑な現代社会の課題を把握すること、自らの考えや提案を示し人々の協力を得ることに意欲をもって取り組める人の入学を求めています。

小論文では、物事を体系的にとらえる力、これまでに学んだことを活かす力、課題解決に取り組む意欲、自らの考えを説明する力を評価します。このため、楽観的意見と悲観的意見の両方があるテーマや、相反する要求があるテーマを出題しています。

● 【評価の観点】 形式

文章の形式的な正しさを評価します。人々の協力や理解を得るための情報発信能力のひとつとしての評価です。誤字・脱字や乱雑で判読が難しい文字の使用は避けてください。字数制限が守られていることも重要です。

● 構成

文章の構成から物事を体系的に整理する力を評価します。結論、理由、まとめの三部構成は理解されやすい構成の一つとしてよく利用されます。対立する二つの意見があるテーマでは、自分の主張とニュースなどで見聞きした意見を読者が明確に区別できるように記述することも心がけてください。

● 内容

文章の内容から、テーマの説明文を正確に読み取る力とこれまでに学んだ知識を活用する力を評価します。テーマによっては数学や物理の知識、地理や政治・経済、時事問題の知識が必要となります。

【2025年度 専願志選抜 小論文 出題意図】

情報通信技術を人々のくらしや社会の課題解決に役立てたいという学修意欲を持ってほしいとの思いから、大学で学ぶ技術と人々のくらしや社会情勢との関係について考えるテーマを設定しています。